

精神科クリニックが開催する祭りの効用	杉本洋（すぎもとひろし）
個人を取り巻く状況とうつ状態との間の「相応性」をめぐる語り一日英米のうつ病手記の分析からー	志水洋人（しみずひろと）
介護支援専門員による遺族支援の実態	平野和美（ひらのかずみ）
初療室で亡くなる患者の家族と看護師の関わり	佐久間千隼（さくまちはや）
低開発地域の当事者運動ーガーナの精神障害に関するトランスナショナルな運動に注目してー	伊東香純（いとうかすみ）
医療におけるチーム形成に必要な志向性の共有についての研究	吉本和輝（よしもとかずてる）
「一番キーの人」に関心を向け続けて調整する実践ー急性期病院の外来看護のワークの研究（1）ー	西村ユミ（にしむらゆみ）
入院説明において確認すべき事項をとりあげる実践ー急性期病院の外来看護のワークの研究（2）ー	前田泰樹（まえだひろき）
「見たことのない病」への治療を求めてーブルキナファソにおける貧困、戦乱と小児がん患児・家族の「軌跡」ー	井田 暁子（いだ あきこ）
看護の現任教育に性の多様性を取り入れるためにー海外の先行研究からの検討ー	影山 葉子（かげやま ようこ）
渡日インドネシア人介護商社に対する食事介助研修プログラムの開発と評価（1）	平野裕子（ひらのゆうこ）
日本の介護・看護分野で働く中国人女性ーライフヒストリーから探る来日の背景や将来展望ー	大野 俊（おおの・しゅん）
文化と介護ー踊りを取り入れた韓国と在日コリアン通所介護施設のレクリエーションを事例にー	伊藤尚子
インドネシアにおける出生前検査、人工妊娠中絶、障害への態度	白井千晶（しらいちあき）
配偶子バンクのグローバルな展開ー北欧と米国・日本との比較の視点からー	李 怡然（り いぜん）
近代日本の禁酒運動に見られる禁酒概念の象徴的な機能	松井 達也（まつい たつや）
癩者、神父、皇太后ー神山復生病院院長岩下壮ーの世界観ー	松岡秀明（まつおかひであき）
医療と医学：EBM以後の社会学的課題	中川輝彦（なかがわてるひこ）
葉酸と妊娠、諸外国における葉酸の穀物への添加と日本の現状ー食と健康の社会学の視点からー	笹谷絵里
「性同一性障害」による医療化が持つ多層的なせめぎあいー性別移行のために医療を利用する人々の「性同一性障害」との距離の	小西優実（こにしゆうみ）
「誰も訪問に来ない10日間はすごく怖かった」ー医療的ケア児の家族のコロナ体験の語りからー	佐藤（佐久間）りか
人生におけるナルコレプシーの意味づけに家族はどう関わるのか	澤田雅斗（さわだまさと）
育児期の現代女性における他者との距離と子育て支援	木村美也子
高齢者の「持てる力」をめぐる実践としてのケアー日本のホームホスピスを事例にー	吉田佳右（よしだけいすけ）
美容師と医療者が連携して取り組むアピランスの支援ー美容師の実践に着目してー	菅森朝子（すがもりあさこ）
手術痕に関する経験的研究のレビュー：スティグマに着目して	田中 裕史（たなか ひろし）

がんと共に生きる人にとっての化粧の意味：化学療法の為に通院中の人に焦点を当てて	谷口明音（たにぐち あかね）
がんサバイバーシップケアのための写真コラージュ実践：「自分らしさ」探究のビジュアル・エスノグラフィー	佐々木加奈子（ささきかなこ）
COVID-19収束期におけるマスクの着用頻度・習慣に関連する要因	石田みのり
ポストコロナ時代におけるピアサポートの取組みと課題 ―全国HIV陽性者円卓会議での検討を通して―	大島岳（おおしまがく）
看護業務遂行を可能にする道具 ―オペレーションマネジメントツールとしてのホワイトボードの分析―	谷川千佳子（たにかわちかこ）
「看護師の被抑圧者集団行動」の概念分析	末武友紀子（すえたけゆきこ）
営利法人が経営参画する民間中小病院のコロナ対応 ―医療組織の二重権限構造を巡る「医経分離」概念に着目した事例研究―	鹿島謙輔（かしまのりすけ）
保健・医療・福祉・教育の連携による水害に関する防災教育の検討	浦野慶子（うらのやすこ）
タイムスタディによる児童家庭支援センターの業務実態調査	堀口康太（ほりぐちこうた）
准看護師問題の現在	鈴木祐子
Realist Evaluationによるクライシスプランの評価枠組みの試作	海老原樹恵
神経難病患者の地域移行支援 ―相談支援事業所管理者への実態調査を通して―	坂野 久美（ばんの くみ）
町会に活動における災害時安否確認のあり方の検討	北村弥生